



2025 年 12 月 11 日

中小企業の半数以上がリスク対策として 「損害保険への加入」と回答

～「中小企業におけるリスク意識・対策実態調査 2025」を公表～

一般社団法人 日本損害保険協会(会長：船曳 真一郎)は、中小企業の経営者と従業員 1,050 名を対象に、企業を取り巻くリスクに対する意識・対策実態調査を行いました。

本調査は、リスクに対する中小企業の意識、実際の被害内容や被害額、損害保険への加入状況などについて調査したもので、2021 年度から毎年実施しております。

昨今、気候変動による自然災害の激甚化や、サイバー攻撃件数の増加など、中小企業を取り巻くリスクは、ますます多様化・複雑化しています。調査結果ではリスクへの対策実態として「損害保険への加入」が最多(55.5%)となり、保険の重要性がうかがえる結果となりました。

また、今回、損害保険の見直し状況を確認する設問を新設したところ、約 4 割の企業が 5 年以上見直しを行っておらず、保険内容が最適化されていない可能性がわかりました。

当協会では、本調査結果を活用し、中小企業のリスク意識の向上や事業者向け保険の普及促進に関する各種取組みを引き続き実施してまいります。

＜調査結果の主なポイント＞ ※各ポイントの解説は別紙をご覧ください。

1. 中小企業の約 8 割(81.1%)が事業活動を行う中で何らかのリスクを認識。また、4 社に 1 社(25.0%)が、何らかのリスクによる被害を受けており、実際に被害にあった企業の約半数(54.5%)が「リスクに対する備えが不足していた」と回答。
2. リスク対策としては、「損害保険への加入」が 55.5%で最多。以下「貯蓄(16.3%)」「共済への加入(14.3%)」「BCPの申請等(9.0%)」と続く。
3. 損害保険で備えたいリスクは「自然災害」が 39.5%でトップ。次に「サイバーリスク(25.5%)」が続く。「サイバーリスク」の認識は 5 年間で上昇傾向。
4. 4 割以上の企業が定期的に損害保険を見直している一方で、約 4 割の企業は 5 年以上見直していない。損害保険会社に期待することは「定期的な保険の最適化」がトップ。

■中小企業におけるリスク意識・対策実態調査 2025 調査結果報告書

https://www.sonpo.or.jp/sme_insurance/assets/pdf/survey/sme_report2025.pdf

■中小企業におけるリスク意識・対策実態調査 2025 の概要

- ・調査期間：2025 年 8 月 29 日(金)～9 月 1 日(月)
- ・調査方法：インターネット調査
- ・調査対象：中小企業の経営者および従業員 1,050 名 ※損害保険契約関係者

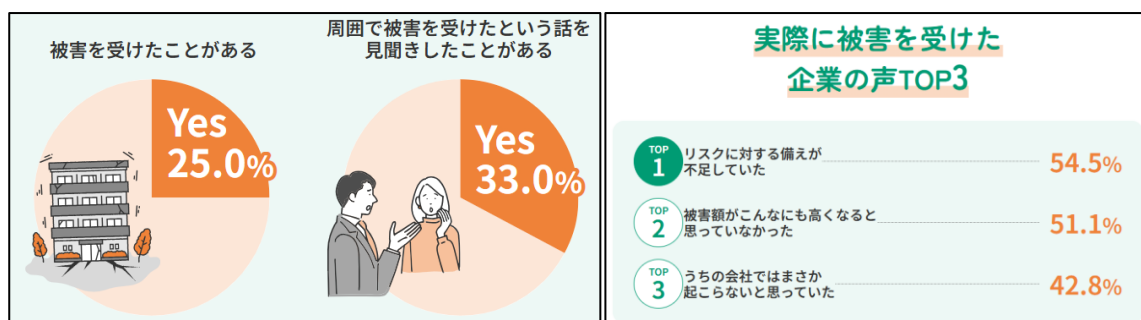
■こちらもご参照ください。

企業のための保険ナビ特設サイト：https://www.sonpo.or.jp/sme_insurance/

<「中小企業におけるリスク意識・対策実態調査 2025」の概要>

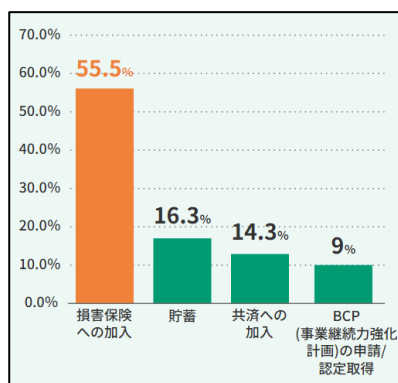
1. 中小企業の約 8 割(81.1%)が事業活動を行う中で何らかのリスクを認識。また、4 社に 1 社が何らかのリスクによる被害を受けており、実際に被害にあった企業の約半数(54.5%)が「リスクに対する備えが不足していた」と回答

- ・中小企業の 8 割以上が事業活動を行う中で何らかのリスクを認識していると回答しており、実際に「何らかのリスクによる被害を受けたことがある」と回答した企業は全体の 25.0%、「周囲で被害を見聞きしたことがある」と回答した企業は 33.0%になります。
- ・被害に遭った際の企業の考えとしては、「リスクに対する備えが不足していたと思う」(54.5%)、「被害額がこんなにも高くなると思っていなかった」(51.1%)が半数以上と特に高く、リスクを認識し、万が一の被害に備えることの重要性がうかがえます。



2. リスク対策としては、「損害保険への加入」が 55.5%で最多。以下「貯蓄(16.3%)」「共済への加入(14.3%)」「BCPの申請等(9.0%)」と続く。

- ・リスク対策としては、「損害保険への加入」が半分以上を占めており、以下「貯蓄(16.3%)」「共済への加入(14.3%)」「BCPの申請等(9.0%)」と続いています。特に「勤務中や移動中における損害賠償」「自然災害」「製造物に関する損害賠償」は「損害保険への加入」によって対策している割合が高くなっています。
- ・実際に被害にあった企業においても、半数以上(56.1%)が取るべき対策として、「損害保険への加入」と回答しており、備えとしての損害保険の有用性がうかがえます。



3. 損害保険で備えたいリスクは、「自然災害(39.5%)」がトップ。次に「サイバーリスク」が 25.5%と続く。「サイバーリスク」の認識は 5 年間で上昇傾向。

- ・損害保険で備えたいリスクは、「自然災害」が 39.5%で最も高く、以下「サイバーリスク(25.5%)」、「顧客・取引先の廃業や倒産等による売上の減少(24.6%)」と続いています。

- ・また、事業活動を行ううえで「サイバーリスク」を認識している企業は、32.7%と前年からは、減少したものの、5年間で10.1ポイント上昇と、2023年以前と比較すると依然として関心が高まっています。



4. 4割以上の企業が定期的に損害保険を見直している一方で、約4割の企業は5年以上見直していない。損害保険会社に期待することは「定期的な保険の最適化」がトップ。

- ・損害保険の見直しについて、「毎年見直し・検討をしている」と回答した企業は17.0%、「数年に一度見直し・検討をしている」と回答した企業は26.9%と、全体で4割強の企業が定期的に保険内容の見直しを行っています。
- ・一方で、「5年以上前から見直していない」（9.0%）、「一度も見直していない」（26.8%）と、全体の約4割が5年以上見直しておらず、保険内容が最適化されていない可能性があります。
- ・企業が損害保険会社や担当者に期待することは、「定期的な保険の最適化」が27.9%で最も高く、以下「保険でのリスク対策のアドバイス（24.0%）」「会社に関わる可能性がありそうなリスクの提示（23.1%）」と続いており、企業は自社に合わせた定期的な保険の見直しとリスク管理の支援を求めていることが伺えます。

<まとめ>

近年、事業者を取り巻くリスクは多様化しています。中小企業の約8割（81.1%）が事業活動を行う中で何らかのリスクを認識しており、その中でも「自然災害」「サイバーリスク」へのリスク認識や損害保険への加入意向が高い結果となっています。

一方で、損害保険の加入率は、火災保険は6割弱にとどまり（58.6%）、その他保険は3割前後にすぎません。さらに、約4割の企業は、5年以上、保険の見直しを行っていない状況です。

保険に加入していても、補償内容が現状に合っていないければ、万全な備えとは言えません。実際、中小企業の4社に1社が何らかのリスクによる被害を受けており、実際に被害に遭った企業の半数以上は、「リスクに対する備えが不足していたと思う」「被害額がこんなに高くなると思っていたなかった」と回答しています。こうした結果からもリスクを他人事ではなく自分事として捉え、日頃から万が一の被害に備えることが重要です。

ぜひこの機会に、損害保険による備えを検討するとともに、既に契約している保険を見直すために、いま一度、保険会社・損害保険代理店にご相談いただくことをお勧めします。